

J T S U - E 水地申第 8 号
2 0 2 0 年 6 月 1 日

東日本旅客鉄道株式会社
水戸支社長 雨宮 慎吾 殿

J R 東日本輸送サービス労働組合
水 戸 地 方 本 部
執 行 委 員 長 黒 澤 純 一

「水郡線西金～袋田間の運転再開について」に関する申し入れ

地本は、4月27日、会社から2020年7月ダイヤ改訂「水郡線西金～袋田間の運転再開」について提案を受けました。

水郡線は、昨年10月の台風19号で久慈川増水に伴う河川洪水により、第6久慈川橋梁が流出されるなど鉄道は寸断され甚大な被害に見舞われました。また、茨城県の地域観光として一役を担ってきた常陸大子エリアでは、列車での旅行において今なお、ご不便をおかけしている状況が続いています。

そのような状況の中、水郡線を運行するE130系車両においては当初、汚物抜き作業ができないことから、車内トイレが使用できず、乗車中のお客さまに最寄り駅で一時的降車を余儀なくされたことや、列車の行き先LED、駅の発車標、車掌の案内放送に相違が発生していることで、現在もお客さまの混乱を招いている事象が発生しています。

また、代替え輸送としてのバス運行に関しては、関係自治体が要請したバスが先行するなど、JRとして鉄道が寸断された区間の代行輸送の判断や代行バスの在り方の問題、それに関連する駅・運輸職場での社員周知について課題があったと認識しています。

一方で水郡線は、一般線区において、列車ダイヤに強い制限を受ける線区であると考えます。今回、提案された乗務員行路では、車両・乗務員の同一折り返し運用が西金駅から袋田駅に変更されたことで、より長時間乗務となる行路が示されました。職場で働く組合員からは、長時間乗務における問題点や改善を求める多くの声が上がっていることから、安全第一の観点で、水郡線という線区の特情をふまえ、ゆとりあるそして、働きやすい行路にしておくことが求められます。

2020年3月のダイヤ改正では、常磐線が9年ぶりに全線開通し鉄道が繋がりました。水郡線においても、全線開通は地元自治体・地域利用者のみならず、多くのお客さまが待ち望んでいると共に、全社員・全系統一丸となって日々、復旧に取り組んでいます。

よって、水郡線の日も早い全線開通を目指すべく、安全の確保を大前提に、働く者の健康・ゆとりの確保、労働条件・労働環境の構築を求め、下記のとおり申し入れますので、会社の誠意ある回答を求めます。

《共通》

1. 昨年発生した台風19号による被災から、2020年7月ダイヤ改訂までの成果と課題を明らかにすること。また、水郡線を担当する水戸運輸区と水郡線営業所運輸科の位置付けと役割を明確にすること。
2. 代行バス輸送における成果と課題を明らかにすること。また、地域利用と観光立脚地の観点から水郡線の将来展望を明らかにすること。
3. 袋田延伸にあたり、不安解消ができる教育内容および訓練を実施すると共に、新人（1年目車掌）、転入者においては未乗務区間であることから線路見習いを実施すること。
4. 袋田駅において、ゆとりある折り返し時間を確保すること。
5. 袋田駅に乗務員休憩室が新設となることから、職場の声を反映し、快適な休憩環境を整備すること。

《運転士関係》

水戸運輸区

1. B59行路の夜間休養時間を拡大すること。
2. 夜間休養時間を拡大するために、B61行路・回876D水戸駅留置時における機関停止手配をMTS担当に変更すること。

《車掌関係》

水戸運輸区

1. C201行路、C203行路を泊C201行路とすること。
2. 袋田駅折り返しAC運用による1継続時間の短縮を図ること。
3. C209行路・便回875D～826D折り返し付加21分の作業内容を明らかにすること。
4. 以下の行路について、食事時間を拡大すること。また、食事間のバランスを改善すること。
 - ・C212行路 848D～941D 夕食 823D～836D 朝食
 - ・C204行路 12M～556M 昼食 564M～843D 夕食
5. C204行路・便回873Dを本務車掌として乗務させること。

《水郡線営業所運輸科》

1. C503行路、C502行路を泊行路とすること。
2. 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から増車を行うこと。また、学校の休校期間・再開時期についてはその都度、関係職場に周知すること。
3. 安全の確保を前提に、車両故障発生時は車両交換を行うこと。

以 上